

第13回尼崎市動物愛護管理推進協議会議事要旨

1 日時

平成26年5月26日(月) 午後2時から午後4時

2 場所

尼崎市議会棟 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員9名(五十音順 敬称略)

入江昭子、上田つた子、植村興、笹木真理子、佐藤由希子、瀬戸口敬幸、藤村貴代美、
宮座欣枝、安福章(保健所長代理)

(2) 事務局3名

宮永生活衛生課長、大平生活衛生課動物愛護センター所長、林生活衛生課動物愛護
担当係長

4 議事の概要

(1) 議事要旨について

- ・協議の結果だけではなく、意見を箇条書きで記載することになった。
- ・委員の中から毎回書記を選出し、その記録を基に事務局が議事要旨を作成することになった。

(2) 共生ガイドブック(犬、猫)について

- ・犬1,500部、猫1,500部の計3,000部を作成した。
- ・各公共施設への配置、及び動物愛護推進員による市民への配布を検討。

(委員)

- ・動物愛護や動物問題に関心のある市民に直接配布することはできないか(TNRに取り組んでいる地域の町会長等)。
- ・作成部数が少ないので、公共施設に閲覧用を1部備え、本当に興味のある人は当該施設の窓口で直接貰ってもらう方がいいのではないか。
- ・共生ガイドブックの内容を、市のホームページ(以下:HP)に掲載するのはどうか。
- ・TNR活動の広報パンフレットについても製作を進めてほしい。

(3) 平成25年度尼崎市動物愛護センターの事業報告について

(委員)

- ・事業報告のデータをHPに掲載してはどうか。

- ・ 公共の場所等で回収された動物の死体の数はどれぐらいか。外猫は事故で死ぬ可能性が高いのだが（※）。

(事務局)

(※について) 年間約2,000匹である(事務局注:犬、猫、その他動物を含んだ合計。うち、猫は1,600匹強)。

(4) 動物愛護推進員について

(事務局)

- ・ 事務局が推進員委嘱前講習会で使用した資料の内容を解説。
- ・ 推進員が行う活動として、センターが行う啓発活動(駅前でのパンフレット配布等の啓発活動等)の支援や譲渡希望者のあっせん(希望者の登録、紹介)、TNR活動への協力等があると説明。

(委員)

- ・ 協議会と推進員は今後密に連携する必要があるのでは。協議会は動物愛護に係る問題について広い視野で協議すると共に、推進員の具体的な活動を把握する役割がある。
- ・ 推進員代表を協議会のメンバーに入れて欲しい。
- ・ 推進員は自主的に市の施策に沿った活動を創りあげていくものだ。最初から役所にやってもらおう考えでは推進員制度の意味がない。
- ・ 推進員の活動事例やノウハウを提供してほしい。

(事務局)

- ・ 事務局は推進員からの活動提案を、各推進員にメール、FAX等で情報発信する等の支援はできる。

(5) 動物愛護基金について

(委員)

- ・ 今後は継続的に寄附していただける方を増やしていく必要がある。
- ・ 寄付者にまた寄付をしたいと考えさせるような案内書類を送付するのはどうか。
- ・ 寄付者から基金の具体的な活用状況を報告してほしいとの意見もある。

(事務局)

- ・ 報告はHPに載せている。

(委員)

- ・ 寄附金収入の報告も大切だが、活用された事が実感できる報告(例:啓発パンフレットを3000部作成、避妊手術の助成を何匹分実施した等)も必要である。

- ・数字がはっきりしたデータを1枚モノで出してはどうか。

(6) その他委員からの意見

- ・不妊手術助成金交付制度の改善要望
 - 1 手続きの煩雑さの改善
 - 2 地域の合意形成のあり方について
 - 3 オス猫の去勢手術費に対する助成の検討
- ・動物愛護団体が高齢者や集合住宅での適正飼養のパンフレットを作成した。それを基に団体が講習会等を開催する時はできる範囲で協力をお願いしたい。
- ・平成26年7月26日(土)に阪神尼崎駅前で開催される「動物愛護フェスティバル」についての情報提供があった。

以 上